九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[018]教育経営学研究紀要目次等

https://hdl.handle.net/2324/1560580

出版情報：教育経営学研究紀要. 18, 2016-01-23. 九州大学大学院人間環境学府(教育学部門)教育経営学研究室/教育法制論研究室
バージョン：
権利関係：

〇井上　敦子

八尾坂先生、ご退職おめでとうございます。在学中はご指導を頂き本当にありがとうございました。これからもお体に気をつけて、ご家族と楽しい時間を過ごしてください。

福岡市立横手中学校　井上　敦子

〇秦　敬治

八尾坂先生ご退職に向けての感謝の言葉

追手門学院大学　秦敬治

八尾坂先生におかれましては、この度のご退職誠におめでとうございます。これまでの永きにわたり、研究・教育・社会貢献に尽力された八尾坂先生のご功績は、我々後進にはとても眩しく輝いて見えます。そして、その功績に少しでも追いつき追い越せるよう、努力していくことが八尾坂先生が我々に期待されていることと肝に銘じておきたいと改めて感じております。

私は、昨年度、愛媛大学から追手門学院大学に移り、副学長・教育開発機構長・基盤教育教授として、高等教育経営の実践に取り組んでおります。八尾坂先生には博士課程の後半からお世話になり、博士学位取得における過程において、ご指導ご鞭撻に加え、事務的な面でも本当にお世話になりました。あらためて感謝申し上げます。ありがとうございました！

ご退職ということですが、今後も世の中のために研究活動を続けていただくとともに、ご自身そしてご家族の幸せのために豊かな人生を送られることを心より祈念いたしております。

〇露口　健司

報國の恩師　八尾坂修先生

八尾坂先生、長らくのお勤め、誠にお疲れ様でございました。旧帝大の教授職は、明治期においては、天皇より任じられる、極めて栄誉と責任ある職と言われております。重責を全うせんとし、国及び地域のために貢献せんとするお姿は、我々、弟子軍団にとって、まさに、「報國の恩師」でございました。今後とも、八尾坂先生の行動哲学を手本とし、学び続ける所存でございます。

さて、八尾坂先生には、絶大なる恩義を感じております。15 年程前、学位取得の件にて、人生の岐路となるご英断を賜りました。論文博士ではなく、課程博士を取得すべきとのご指示です。課程博士がスタンダードとして定着した今、先生の先見の明に対しまして、敬意と感謝の念を抱いております。また、学会賞にも、2 件、ご推挙賜りました。いずれも受賞の結果となり、その後のキャリア形成の基盤となりました。八尾坂先生に支えられているという安心感は、弟子軍団の共通感情であると思われます。これからも、我々を支えて続けて下さい。

先生から賜りました恩義は、とても返せそうにありません。先生の意思を受け継ぎ、国及び地域の繁栄のために奉公することをもって、先生への恩返しとさせていただければ幸いです。重ねて、感謝の意を表します。

露口健司（愛媛大学）

○田村　知子

八尾坂先生のご退職に寄せて

八尾坂先生がご退職になるとお聞きし、信じられない心境です。奈良教育大学にいらっしゃった折から、気さくに、優しく声をかけてくださった先生が、九州大学に着任されると聞いて心から喜んだ日が昨日のことのようです。

八尾坂先生には、博士号取得にあたり、一方ならずお世話になりました。それだけではなく、ここぞ、という重要な局面において、何度も助けていただきました。心から御礼申し上げます。今まで私は、先生に何も恩返しできていませんが、先生から教えていただいたことを胸に、真摯に研究を続けていくことで、先生への敬意と感謝の気持ちを表したいと存じます。

ご退職後も学会その他でお目にかかれる機会は多いと思います。これからもご指導のほど、どうぞよろしくお願い致します。

岐阜大学大学院　田村知子

○松本　祐子

八尾坂先生への感謝と畏敬の念をこめて

九州大学の定年ご退職おめでとうございます。ご指導していただいた学生として大変寂しい思いです。

私は、平成 18 年４月、社会人として修士課程に入学させていただき、修士論文の指導教官として、先生には大変お世話になりました。学生と高等学校の教頭という立場を理解していただき、いつも快くご指導していただいたことに深く感謝しております。

先生との出会いは、福岡県立学校の副校長・教頭研修会でご講演をうかがい、日頃から学校経営及び教育管理職のあり方等について深く学びたいと思っておりましたので、大変感銘を受け、研究についてご相談をさせていただいたことに始まります。先生からのご指導のなかで留意したことの一つは、現職教員の研究では、「教育は人なり」でまとめる場合が多くみられるということでした。日々の教育活動において実感することをどのように研究していくのか、貴重な２年間であり、修了後も福岡県教育センター産業・情報教育部長及び高等学校の校長職としての職務において、安易な表現をすることがないように心がけているつもりです。今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

八尾坂先生のこれまでの教育研究活動に敬意を表しますと共に温かいお人柄に深く感謝しております。先生のご健勝をお祈り申し上げます。

〇雪丸　武彦

八尾坂先生、九州大学でのお勤め、おつかれさまでした。

八尾坂先生とは、先生が赴任される前年の集中講義で初めてお会いして以来のお付き合いとなります。学部生、院生時代、そして現在の仕事に就いてからも、先生からは様々な形でご支援をいただきました。また、その間、先生の懐の広さに様々な場面で助けられてきました。先生が日々示してくださった学生に対する細やかな配慮とおおらかさは現在の私の学生との関わり方の模範となっています。これまで本当にありがとうございました。どうかくれぐれもお体ご自愛ください。

〇岩本　晃代

八尾坂修先生のご退職記念に寄せて

八尾坂修先生の研究室を初めてお訪ねしたのは、私が福岡県内の高等専門学校に国語・文学系の教員として勤めて 19 年目の夏でした。教員養成系の学部を卒業後、文学研究の道を志して文学系大学院へと進学し、高専に就職が決まったときには、文学研究に力を注ぐつもりでいました。しかしながら高専は、実践的技術者の育成を目的として中学校卒業者を受け入れる 5 年一貫の高等教育機関で、高校生の年齢の学生もいます。大学入試のための受験指導はなく、学生の多くはのびのびと学校生活を楽しんではいましたが、教員としては、研究面のみならず教育面にも重点をおくことが求められました。さらに、中堅教員として若手教員の指導にもあたるようになると、担任業務、部活動指導、学生寮の指導等、中等教育段階についてのさまざまな教育的な専門知識が必要であることを日々実感するようになりました。先生は、お忙しい中、当時の私が直面している問題について親身にお話を聞いてくださいました。数日後、お電話を頂き、大学院入学について励ましてくださったときの有難さは今も深く胸に刻まれています。

その時、教育学について専門的にしっかり学んでみたいと、新たな分野で、再び、大学院に進学する決意をしました。

当時の職場の校長の勧めもあり、平成 18 年 4 月に九州大学大学院人間環境学府修士課程に社会人として入学し、八尾坂修先生のもとで、教育経営学について勉強させて頂くこととなりました。研究室には多くの社会人学生がいて、夜間の授業に出ておられました。私は、職場の理解もあって、研修日に若い学生さん達と一緒に授業を受けていました。八尾坂研究室の活発で明るい雰囲気によって、私の「学生」としての毎日は、新鮮で充実したものになりました。学問の領域が異なると、論文の書き方や方法、用語等が違ってきます。八尾坂先生はお忙しい中でも、いつも丁寧にご指導くださいました。

また、博士課程進学後に、鹿児島の短期大学に異動し、通学が困難になってからは、学業以外の事務手続き等についてまでも、ご配慮を賜りました。平成 24 年 3 月に「高等専門学校制度における一般教育に関する研究」で学位取得を果たすことができたのは、八尾坂修先生の、あたたかく、そして時には厳しいご指導とご支援の賜物と深く感謝申し上げております。

現在は、地元熊本の崇城大学で、教養の日本文学と教職課程の授業科目を担当しています。大学で教職の授業を担当することができるのも、大学院で教育学を勉強してきた経験が大きな糧になっているからだと、日々実感しております。八尾坂修先生には、さらに、大学院を修了後も引き続き、本学の教員免許更新講習等々、さまざまな場でお力添えを頂いておりまして、心より有難く存じております。

ご多忙な日々を送られてこられた先生には、ご退職後はお体を休めて頂きたいと思う一方、健康面にも充分にご留意頂いて、また、ぜひとも、さまざまな教育の場で益々ご活躍頂き、教え子たちの心の支えになって頂きたいと存じます。

これからもご指導ご鞭撻いただきますよう、どうか宜しくお願いいたします。

○呉　会利

2011 年秋修士課程修了の呉会利です。

2008 年から 2011 年まで九州大学で過ごした 3 年間は、貴重な宝物で、現在及びこれからの生活の土台にもなっています。この堅い土台が築けているのはサポートしてくださった皆様のお陰です。特に八尾坂先生のご指導がないと、何も成り立ちませんでした。感謝の気持ちでいっぱいで、その気持ちがこれからずっと続いていくと思います。長い間、本当にお疲れ様でした。多忙な生活も余暇も楽しんでくださいませ。

いつでも先生とお会いできるのを楽しみにしております。

○高山　静子

八尾坂修先生ご退職に寄せて

八尾坂修先生、修士、博士課程ではお世話になりありがとうございました。

研究を進める上で、先生の温厚なお人柄にどれほど助けられたかわかりません。

優れた教員のコンピテンシーに相手に肯定的な期待を寄せることがありますが、八尾坂先生は、いつも期待をかけ肯定的な表情と言葉とで研究を励まして下さいました。先生からご指導いただいたことを、帰りのバスと電車のなかでパソコンにまとめ思索にふけったことも懐かしい思い出です。

月日が経つごとに、先生からご指導をいただいた細かな内容は忘れましたが、八尾坂先生の雰囲気や言葉の温かみがより強く心に残るようになりました。

今大学で後進を育てる立場になり、私も八尾坂先生にしていただいたように学生や院生に対し

て期待を寄せ、励ましを贈り続けていきたいと思っております。

八尾坂先生のご健康と末永いご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

高山静子（東洋大学）

○平嶋　一臣

八尾坂先生、お疲れさまでした

純真短期大学こども学科　特任教授　平嶋一臣

先生にとって、60 歳を過ぎての入学生であった私は、手足まといになるばかりの不肖の教え子だったことと思います。入学してから 1 年目は、パソコンができず、授業では手書きのレポートを提出しておりました。手書きでは文字も大きくなりがちで、どうしてもレポートの枚数が増えてしまいます。その上何よりも文字が不揃いで読みにくかったはずです。それにも拘わらず、先生は私のレポートを丁寧に読んでくださり、勉強不足の部分を指導してくださいました。そんな時、私はふと魯迅の小説『藤野先生』を思い出しておりました。

2 年目は、いよいよ論文作成の年でした。それまで、まともに論文など書いた経験のない私です。パソコン嫌いの私も、背に腹は代えられず、とうとう意を決しパソコンに向かいました。ところが、これも私のような付け焼刃では、思うようにはなりませんでした。そこに助け舟が入ったのでした。院の先輩K氏とH氏の登場でした。お二人には、学校現場で集めてきた資料の整理の仕方、パソコンを使っての先行研究調査の方法、それに何よりもパソコン操作です。お二人には文字通り、手取り足取り懇切丁寧に教えて頂きました。これも、その裏で先生が「平嶋さんを助けてやってくれ」と、話されたことを後に知りました。

おかげさまで、研究テーマの『幼稚園と小学校における連携教育の在り方』を、修士論文にまとめ提出することができました。今では、そこを原点に、新しいテーマ『幼児・児童期における感性教育の在り方』へと発展させ、毎年遅々とした歩みではありますが、論文を発表し続けております。このように、今の私があるのも先生の温かいご指導ご助言があったからこそと、改めて感謝しております。

先生が定年を迎えられると聞き、時が少しずつ流れていることを、改めて知らされております。先生、長年のお勤めお疲れさまでした。とは言え、混沌としている昨今の教育界です。先生には、活躍の場が待っていることと思います。今後とも教育界の重鎮として、我々教え子をお導き下さい。

末尾になりますが、健康にはくれぐれもご留意くださいますようお願い申し上げます。

○戚　蕊

長年にわたりご指導頂き本当にありがとうございました。長年お仕事を無事に勤めあげられましたことをお祝い申し上げます。

2007 年に、妊娠中の私が先生の研究生であったことを思い出して、本当に感謝しております。先生のおかげで、私の日本留学の夢が実現できました。

先生の学生になれたことは本当に幸せです。４年半の間、いつも優しく、丁寧に指導していただいて、また、挫折にあった時、先生がいつも励ましてくださって、勇気をくださって、ありがとうございました。いろいろな迷惑をかけまして、申し訳ございませんでした。

これから、心ゆくまで人生を楽しんでください。どんな時でも、上海に来たときは、心より歓迎します。

〇張　恵婷

八尾坂先生、今までお疲れ様でした。院生 2 年間、お世話になりました。いつもご丁寧に指導していただき、ありがとうございます。学んだことは今の職場でも役立っています。今後のご健康を祈っております。

〇王　爽

八尾坂先生

ご定年おめでとうございます。今まで沢山の温かいご指導と励ましを頂き、誠にありがとうございました。

恩師である八尾坂先生は在校中だけではなく、卒業後も大変お世話になりました。自分が進路に迷っていた時、先生はいろいろ話してくださったこと、「Slow and Steady win the race」という言葉を絶対忘れません。ご定年に臨み、重ねてお礼を申し上げます。今後とも相変わらずご指導をいただきますようお願い申し上げます。

2013 年 3 月卒業生

王　爽より

〇李　昱輝

2013 年博士課程修了の李昱輝です。現在は上海師範大学教育学院に勤めています。4 年余りの留学生活を振り返るたび、凡ゆる場面で先生のことを思い出します。初めて長会話を交わした日本人の先生、初めて日本語での専門授業、初めての学会発表、初めての博士論文指導…先生のお陰で、九州大学の留学生活にすぐに慣れ、日々楽しんでいました。先生のご指導は、私にとって、一生の大切な思い出です。これからも、先生を模範にして、真面目に研究に取り組みながら、全力で生徒たちを指導します。

李昱輝

○清田　雄二

八尾坂修先生のご退職を祝して

中間市立中間南小学校　清田雄二

八尾坂先生、ご退職おめでとうございます。

私は、平成２２年４月に社会人院生としてスタートしたものの、職場から約１時間半かけて通う授業は、疲れと睡魔との闘いでした。そんな時、「車の運転には気をつけて。少し遅れても大丈夫ですから。」と、心温まる声かけをしていただきました。

次の年は人事異動に伴う任務内容の大幅増加、その次の年は、教頭昇任による激務となり、大学院での学びが非常に厳しい状況になった時、４年間の長期履修を承認していただきました。その時も、「仕事をしながらの研究だから本当に大変ですね。じっくりと履修・研究し、学びを深めていきましょう。」と気遣ってくださいました。

先生からの学びが終わって２年経った本年、校長職を拝命した時も、「校長先生への昇任、おめでとうございます。責任を背負いつつも、楽しんで前向きに頑張ってください。」とのお言葉をいただきました。いつも温かく、そして優しく、先生との出会いは私にとって一生の財産となりました。

八尾坂先生、本当に長い間お疲れ様でした。退職されましても、益々のご活躍を陰ながら祈念しております。本当に本当にありがとうございました。

○山田　敏明

九州大学大学院 教授退職に寄せて

平成２５年度卒業 山田敏明

ご退職おめでとうございます。

永年にわたるご功績に心から敬意を表します。今後は健康に留意され、これまで以上に充実した日々を過ごされますよう末永いご多幸を心よりお祈り申し上げます。

八尾坂教授との思い出

講義終了後、研究室で私の研究の方向性についての話をされる中で、先生が私に「お幾つですか。」と尋ねられ、私より「三つ年下ですね。」と笑顔で語られ、同じ世代になるのかな、などといわれ緊張していた私の心がしだいにほぐれていったことを思い出します。

先生との出会いは「現代の教育改革と学校の自己評価」という書物を通してでした。当時は学校評価や学校の特色化がいわれていました。また、その頃、中留武昭先生に九州大学で研究会があるからとご案内をいただき、そこで初めて八尾坂先生のお顔を拝見いたしました。

入学前に「学校管理職マネジメント短期研修プログラム」を受講させていただき日々実践していることが、大学の先生方によって研究されているという不思議な感覚を覚えました。このことが入学のきっかけになったと思います。研究計画書の作成に当たっては、何を研究したいのかを

明確にし、どのような書き方が自分の思いを適切に表現するのか丁寧にご指導をいただいたことを思い出します。

入学後の講義では「学校改革の課題とリーダーの挑戦」をテキストとして使用され、具体的な実践事例を学校現場で働く私たち社会人に求められ、理論的な裏づけ等をするわかりやすい講義展開をしていただきました。大学の蓄積された知識・頭脳の一端を垣間見る思いが毎回の講義にあふれ楽しく過ごした日々を懐かしく思い出します。

論文の作成に当たっては、1年目からどのような研究がしたいのかを具体的にたずねられました。指導力不足や危機に陥る学校、信頼を失う学校があり、そのような学校の危機を回避することや信頼を取り戻すことなどの研究がしてみたいという思いを話すと、具体的な事例を挙げられて、研究室の書棚にあった本を何冊か取り出され紹介してくださいました。そして、研究のテーマが決まったらそれに関する本を集めることが大切であることや大学の図書館の利用方法、パソコンを使ったインターネットによる検索方法などを教えていただきました。

論文の主題は教頭の職務を追究することでしたが、教頭の職務については、牧昌見先生が法制度成立前後から詳しく研究されていることを知りましたが、先生から牧昌見先生は私がお世話になった先生ですというお話を聞いて何かのご縁のようなものを感じました。

論文の構成・章立て、引用文献、表記、表現等々、一つ一つわかりやすくご指導していただきました。

論文仕上げの年となる2年目の後半は、勤務校で3年間の研究成果を公表する研究大会や地域と連携した学校文化祭の開催、年が明けての1月に地区の教頭の研究大会がありその開催地・代表者になっていることなど私にとっては、かなりの過密スケジュールでしたが先生にはそのことについてご配慮くださり、早い時期からの論文着手、毎月の書き上げていく目標設定などをしていただき、また懇切にご指導をいただいたことを忘れません。

先生は常に優しく社会人に対しては、お忙しいでしょうという労いの気持ちを持って接していただいたことを記憶しています。また、九州教育経営学会やアメリカ教育学会など紹介と参加を促され、お陰様で充実したときを過ごすことができました。学問・研究については厳しい視線で臨まれる人間味あふれる学者であり心より尊敬申し上げます。

公立小学校を退職後、高齢者福祉施設に勤務していますが、学校とよく似た組織です。ユニット≒学級・学年、介護員≒教員、まとめ役のリーダー≒学年主任、またそれらを統括する介護長≒教頭などに置き換えられるのではないかと思っています。人が人を教育するように、人が人のお世話をします。介護員の力量が問われますがこれも担任の力量が問われるのによく似ています。さらに、各種委員会があり組織として取り組みを行いＰＤＣＡサイクルが存在し、情報共有、取り組みの共有、連携・協働が大切なこと等々類似点が多数あります。これは、学校や高齢者福祉施設が類似しているということではなく、企業は皆どこかしら似ていて、学校も特殊な存在ではないということを示しているのかもしれません。

九州大学大学院で学んだことは現在の勤務先で存分に生かし、理論と実践を発展させ使えるものにしていかなくてはいけないと思っています。先生の人を思う優しさはこれからの人を育てて

いく上で大事なことだと思っています。

ありがとうございました。

〇宮本　つぼみ

八尾坂先生

ご退職おめでとうございます。長い間、私たちをご指導頂き、ありがとうございました。

在学中は、なかなか研究が進まない私に対しても、先生はあたたかく励まし続けてくださり、おかげ様で何とか卒業することができました。研究以外のお話をさせていただいたのも、とても楽しい時間でした。

卒業後も気にかけてくださり、何度かご連絡いただきました。とってもうれしい気持ちになり、勉強や仕事の励みになりました。本当にありがとうございました。

現在、私は島根県の中学校で講師をさせていただいており、毎日生徒たちと元気に過ごしております！来年も採用試験にチャレンジする予定です。先生に教えていただいたことや、大学で勉強させていただいたことを大切にしながら、今後も努力して参りたいと思っております。

先生の今後のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

2012 年度卒業生

宮本つぼみ

〇畑中　大路

八尾坂先生のご退職を祝して

私が八尾坂先生と初めて出会ったのは、九州大学教育学部に入学した 2005 年秋、六本松キャンパスで開講された講義「教育学概説」でした。中学教師を目指していた当時の私は、「教員免許更新制」について熱く語られる八尾坂先生の講義へ自然と引き込まれていったことを覚えています。この講義が八尾坂研究室へ所属するきっかけであったように思います。

しかしその後、八尾坂研究室に所属し大学院を修了するまでの約 7 年間、私は八尾坂先生の方針とは常に異なる研究スタイルをとり続けて参りました。今振り返ると、「八尾坂先生を越えたい」という思いが強かったのだと思います。現状は先生の足元にも及んでいませんが、これからの研究者人生を通じ、いつの日か八尾坂先生を越える、それが私にできる八尾坂先生への最大の恩返しだと考えています。

九州大学で八尾坂先生と出会うことができた私は幸せです。本当にありがとうございました。先生のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

畑中大路（山口東京理科大学）

○山田　俊之

八尾坂　修教授　ご退職に寄せて

八尾坂　修先生ご退職おめでとうございます。

私が八尾坂先生の講義を最初に受講させて頂きましたのは、平成17年（2005年）の４月からでした。当時、社会人学生として現職小学校教師でしたので、夜の授業に週に３回大学に通い「学校マネージメント」「スクールリーダーの役割」「アメリカ合衆国の教育システム」等について他の院生の方々と一緒に学びました。

八尾坂先生のお名前は教育委員会の研修やご著書等で事前に存じ上げていましたが、九州大学で直接講義を受けられることを知り大変感激したことを覚えています。

当時、同じ筑後地区の教師仲間が文部科学省の中央研修で八尾坂先生の講座を受講しており、中央教育審議会委員をされている八尾坂先生から毎週受講できることの充実感は、現職教師としてとても刺激的なものでした。

さらに、現職の立場でしたので八尾坂先生が話される内容と我が国の教育方針が決まりいく過程を肌で感じることができたことは、とても新鮮で充実した時間でした。

先生の講座の中で、アメリカ合衆国の教育システムと日本の教育の比較検証や諸外国の学校経営や学校文化の学びは目から鱗が落ちる思いで、先生の授業を受けご著書、論文等を読ませて頂きました。

教育は「国家１００年の計」と言われています。まさに、大きな視点をもって、日本の児童生徒の教育システムを構築するためにはどのような“かじ取り”がふさわしいのか、日本の教育が、諸外国のシステムをどのように取り入れ進めていったらよいのか、等々。日々、教育現場に忙殺されている現職教師にとって、八尾坂先生の講座は日本の教育の流れを感じ、これからのグローバル社会を生きぬいてくため学校教育の「生きる力」方向性を学校マネージメント、学校文化の構築等、様々な視点で勉強させていただきました。

講義や論文指導の中で、八尾坂先生のゆっくりとひとつ一つの言葉を大切にされ、ご指導される内容には、現職の教師として目前の問題解決ばかりを追う忙しい日常から、“より良い学校マネージメント行う”という視点を持つことの大切さを学びました。

私事ですが、九州大学大学院では社会人学生として、博士後期課程に進学させて頂き、八尾坂先生に指導教官を担当していただいたことに心から感謝しております。そして、私の力不足のため飛梅論文では稚拙な内容にもかかわらず、丁寧なご指導や心温まるアドバイスをいただきながら、なんとか執筆させて頂き、今では心の支えになっております。

現在、平成２６年度より、九州大学教育学部教職課程「特別活動指導法」担当の非常勤講師をしております。この時、授業の念頭にあるのは八尾坂先生からご指導いただいた「学校マネージメント」「学校文化の構築」「スクールリーダーの育成」です。そこに、特別活動指導の根幹である「望ましい集団活動」「望ましい人間関係づくり」があると思っています。それは、先生から学んだ管理職のリーダーシップが発揮されることで、学校を活性化

させミドルリーダーを育て、生徒の“望ましい人間関係づくり”と密接に関係していることを実感しているからです。

先生から学んだ、管理職やミドルリーダーの育成が一つの組織体になって学校経営目標に向かうことが、生徒の望ましい人間関係を高めることに重要な役割をすると考えています。このことは、学校現場で長年勤務していた立場として実感させられるものでした。

私見ですが、学校現場だけで働いたものが一番陥りやすいのは「自らの現場経験のみで判断してしまうことです。そして、現職教師が地域性や自分が経験した学校経験のみで自分のスタンダードの基準になってしまい、経験年数が重なるほどに自分の尺度でしか見ることができない教師感覚が身に付いてしまいがちです。

「現場至上主義教師」の視点ではなく、教育システムという大きな視点から考えていく、学校マネージメントの大切さを、先生から論理的に薫陶を受けることができたのはとても大きな事でした。

そのことは、後に私の専門分野である「特別活動」（学級活動、文化的行事、奉仕的行事等の学校行事等）や「特別支援教育」などで、福岡県外の教職員対象の研修指導をさせていただく機会に触れたことで確信に変わっていきました。

八尾坂先生の論文指導や講話の中、中央教育審議会答申がどのように教育現場に反映されていくか、学校管理職の立場から肌で感じることができました。それは、私がこれから教職課程の授業を行っていくうえで大きな糧と自信になっています。ありがとうございました。

最後に、現役の院生の方々と比べ能力的に稚拙な論文にもかかわらず、温かい眼差しと大きな包容力で辛抱強くご指導頂いたことに心から感謝申し上げます。

現在、九州大学で教職課程を志す学生の方々へ指導する機会を与えて頂いています。これからも、八尾坂先生の教えやご著書を心の支えに末席になりますが“八尾坂イズム”の一端だけでも継承できればと思っております。今後とも、末永くご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

〇平井　有紀

八尾坂先生のご退職に寄せて

八尾坂先生、ご退職おめでとうございます。

私は学部３年次から、教育経営学研究室に在籍させていただきました。公務員試験の勉強と卒業論文の執筆という大学生活の中での最も大きな関門にさしかかった時、私の選択に対し八尾坂先生はいつも背中を押してくださいました。進路の確定が遅かったこともあり、卒論執筆においてはスロースターターだった私にも、声掛けや差し入れのお菓子をくださり、最後の最後まで励ましてくださいました。心より感謝申し上げます。

私は今でも壁に直面した際は、学生時代のことを思い出し、前向きな気持ちで頑張ろうと自分

に言い聞かせながら職務に臨んでおります。八尾坂先生が退職を迎えられて寂しくもありますが、長い間本当にお疲れ様でした。今後とも、先生の多方面でのご活躍を祈念しております。くれぐれもお身体ご自愛ください。またお会いできる日を楽しみにしております。

〇竹中　仁志

八尾坂　修先生の定年退任を祝して

八尾坂先生がこのたび九州大学での教育・研究を果たされ、ご健康で定年退任を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

私は平成２１年４月から平成２７年３月まで先生の研究室に在籍させていただきました。社会人としての研究生でしたので、研究室に行くことも少なかったのですが、先生をお尋ねすると、いつも笑顔で迎えて頂きました。

私の研究が全然進んでいなくても、先生から示唆をされた課題ができていなくても、先生は、いつもの穏やかな口調で、「ああそうですか。それでは、こんなやり方がいいですよ。」とおっしゃられました。そして、「では、次はいつにしましょうか・・・・。竹中さん、卒業できますよ。だから、卒業しましょうよ。」と温かい声をいつもかけて下さいました。

先生とお話しさせて頂いた後は、いつも満ち足りた気分になっている自分がいました。

昨年１２月のことでした。私は修士論文がなかなか書けず、修了が危ぶまれたとき、先生は親身になって奔走してくれました。丁度、先生がご病気で体調が最高に悪い時でした。そういう状況にも関わらず、尽力頂いたことに言葉に表せない位の感謝の気持ちで今もいっぱいです。

研究や研究書の原稿執筆、その他の役職で、いくらお忙しくとも、私たち学生に対しても優しく接してくださる姿は、私も見習わなければならないと強く感じます。先生の「自分に厳しく、他者に優しい」お人柄に少しでも近づきたいと思います。

また、先生からご指導いただきました「外国人児童生徒教育」の研究は、今後も私のライフワークとして続けていきたいと思います、

八尾坂先生がこれまで全力を注いで築いてこられた九州大学教育学部、人間環境学府の教育と研究の場に、別れを告げられるご感慨はひとしおであろうと推察しております。ただご定年は、先生にとってあくまで一つの節目であるに過ぎないと思いますので、今後も教育研究の先頭に立って、私ども修了生、在校生をご指導いただければ幸いです。

こうして、先生の退職記念誌に寄稿させていただくにあたり、今の自分があるのは、八尾坂先生のもとで勉強させていただいた 6 年間があってこそのものであると改めて実感いたしております。

先生には、改めて感謝の気持ちをお伝えさせていただきたいと思います。ありがとうございました。

八尾坂先生には今後ともお元気で、これまでの知識・経験を活かされて、益々ご活躍されることを祈っております。

〇福田 優里奈

八尾坂先生

この度はご退職おめでとうございます。お身体の調子はいかがでしょうか。

九大に入学して、先生の研究室で学ばせて頂けて、私は本当に幸せ者です！卒論ではご心配とご迷惑をお掛けしましたが、先生のご指導のおかげで卒業することができ、今社会人として奮闘することができています。本当にありがとうございました。

これからはお身体に気をつけて、ペロちゃんとゆっくり仲良くされてください。ありがとうございました。

福田 優里奈

〇孫　雪熒

八尾坂　先生

ご定年おめでとうございます。

先生のおかげで、無事に留学することができました。この 4 年にわたりご指導頂き、感謝申し上げます。先生の退職前の最後の博士として、来年 3 月先生とともに博士号を取れるよう頑張りたいと思います。

退職されましても、ますますご活躍されますことを心よりお祈りいたします。これからは、趣味や旅行などでお楽しみいただいて、これまで以上に元気で充実した日々をお過ごしください。

孫

〇楢原　英樹

八尾坂先生、ご退職誠におめでとうございます。思い起こせば、私が大学院への入学を検討している時に、八尾坂先生にご相談に乗っていただいたことで九州大学の修士課程に入学することができたと思います。また、在学中は、親切丁寧なご指導いただき本当にありがとうございました。八尾坂先生の最後の弟子となれるよう修士の学位取得に向け論文の作成に取り組んでまいります。

〇阿南　清士朗

八尾坂先生、この度はご退職おめでとうございます。

先生には学部生のころより大変よくしていただきました。他学部生であり、まだ教育学部の門を叩いたばかりの私を快く迎えてくださり、感謝に尽きません。研究室配属のお願いにお伺いした際にも、折しも留学が決まっておりました私に「留学頑張って来なさい。帰ってきたら、是非

研究室においで。」と温かいお言葉をいただけたことが忘れられません。

院生になった後も、アルバイトばかりに追われ決して優良な院生ではなかった私にも、たびたびお電話などを頂戴しお心遣い賜りました。先生の下で大学院生活を送れ、ありがたく感じております。先生のご退職前最後の院生の一員として、今後も励みたいと存じます。

長年にわたりご指導いただきまして、本当にありがとうございました。ご退職なさった後も、お体にはご自愛いただきながら、ご旅行や趣味などもお楽しみいただき、ますますご活躍なさることと存じます。これからのご発展とご多幸を祈念致しております。

阿南清士朗

○江藤　将行

恩師・八尾坂修教授

八尾坂先生、この度はご退職まことにおめでとうございます。

私が学部３年生の頃から先生にはお世話になり、今こうして九州大学教育学部教授・八尾坂修の最後の教え子としていれることを誇りに思います。こうして振り返ってみると先生との思い出はたくさんあり、ここでは書ききれないほどです。

まず私の教員になりたいという夢を一番応援して下さったのは八尾坂先生です。教員になる際に役立つ情報や書籍など惜しまず私にくださったことに私は非常に感謝の気持ちでいっぱいです。先生の期待に沿えるように日々精進していきます。

研究に関しては、先生は私を信用し、私の自由に研究をさせてくださいました。先生が私にのびのびと研究をさせてくれたおかげで、自ら課題を見つけ物事に取り組もうとする主体性を身につけることができました。この身についた主体性はこれからの人生に大きく役立つものになると思います。

これから私は先生から授かった教えを胸に社会へと羽ばたいていきます。八尾坂修教授の九州大学最後の教え子として恥ずかしくないよう生きて行こうと思います。今までありがとうございました。

○胡　瀛月

三年前、私は中国から日本の九州大学に来て、八尾坂先生の学生になりました。その頃、聞き取りも話も下手な日本語、今までの生活と全く違う環境、先が見えない未来、不安なことがいっぱいありました。しかし、研究室で先生と初めて会って、ネガティブな気持ちが全てなくなりました。先生は優しくて、日本に来たばかりの私に理解できる言葉で励ましていただいて、とても感動しました。

この三年間、ドキドキだった院生入学試験、学部生授業の Teaching Assistant 担当、修論構想の中間発表会、そして修論の執筆など、これまで暖かくご指導頂きまして、本当に有り難うご

ざいました。また、勉強以外は、忘年会にも、九大 Open Campus、懇親会にも、年賀状にも、贈っていただいた著書にも、先生の学生への期待と関心が感じられます。先生のおかげで、私は非常に充実な勉強生活を過ごすことができました。本当に感謝しております。

先生との出会いは、今までの人生で一番幸せなことだと思います。この場を借りて、先生に厚くお礼申しあげ、今後もご期待に沿えるよう頑張っていきたいと思います。

〇楊　暁暄

八尾坂先生

今までお世話になりまして、ありがとうございました。

先生の研究室に入って、先生のご指導をいただいていることは私のこの大学４年間で最も幸せなことです！私の卒業論文へのご指導は大変助かりました！誠にありがとうございました！この１年半ご迷惑をかけました。

私は１年生から先生の研究室を目指していて、研究内容は抽象的で難しそうな感じがあるんですが、私は非常に興味を持っています。幸いにも先生の研究室に入ることができ、研究室の先輩たちもすごく優しくて、研究室の雰囲気もすごくやわらかくにぎやかと感じました。新入生歓迎会から検討会、忘年会、合宿など様々な活動があって、私にとってこの研究室の皆さんはもう家族のような感じです。先生は来年退職されて、私たちも卒業する予定で、この研究室は寂しくなります。しかし、先生の在職中と変わらず、退職しても、私の心の中でずっと最も優しくて大切な先生です！先生の学生になって、先生との１年半一緒の学習生活はきっと私の人生の貴重な財産になります！

私は来年から名古屋に転住して、いつか第三国に行くかもしれません。先生のご都合がよろしければ是非名古屋へおいでください！

楊暁暄

〇高崎　俊輔

八尾坂先生、ご退職おめでとうございます。先生との思い出として思い返されるのは、学部３年次の研究室選択です。どうしようない私を研究室に温かく迎えてくださった先生の寛大さには感謝が尽きません。本当にありがとうございました。先生の九州大学における最後の学部生として、先生とともに学校を卒業に向けて頑張れたことを誇りに思います。これからは社会人として、先生の教えを胸に頑張ります。先生もお身体にはご自愛ください。ご退職誠におめでとうございます。

〇筒井　恵子

八尾坂先生の退職に寄せて

筒井恵子

満期後退職おめでとうございます。個人的にも大変お世話になりありがとうございます。

私は八尾坂先生が九大に赴任された年に担当された社会人学生です。遠距離の学校に勤務していて修論作成がおぼつかない私に、先生は、「どうですか。すすんでいますか。」と職場に何度も電話をくださいました。参考文献の書き方等、丁寧に指導していただきました。卒業できたのは先生のおかげです。また、退職後の就職についても励ましてくださいました。昨年は研究生としてもお世話になりました。「秋田県がなぜ、学力・学習状況調査が連続 1 位なのか。」という課題は、今の職場の学生に取り上げています。今後もお元気で私にご指導をお願い申し上げます。

〇大竹　晋吾

八尾坂先生に指導を受けた院生時代を思い出して

平成 15 年 3 月、中留武昭先生（教授）や諸先輩方の指導を受けた博士課程の 5 年間、途中で逃げ出したりもしましたが何とかやってきたという状況でした。中留先生が平成 14 年度で定年を迎え、指導教官不在になるところで、八尾坂先生が赴任されました。

当時の院生だった私は本当の意味で気づいていなかったと思います。あの頃はいつでも研究の事になると躍起になり、相手の状況や立場を考えずに意見を押し付けてばかりだったように思えます。それが院生としてのあるべき姿だと思っていましたが、一方で高慢だったとも今なら思え、ただ恥ずかしくなるばかりです。私も、現在は教職大学院で現職教員を指導していますが、改めて八尾坂先生の指導のスタイルを思い出します。本当にありがとうございました。

先生にご指導いただいたことをよく噛みしめ、今後とも大学教員としてのあるべき姿を模索していきたいと思います。八尾坂先生におかれましては、くれぐれもお身体をご自愛ください。本当にありがとうございました。